

令和8年度「2年保健」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
保健		必修	1	共通
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）			
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）			

1 学習目標

「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階における健康、労働と健康について、「健康を支える環境づくり」では、環境と健康、食品と健康、保健・医療サービスおよび医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。

2 学習概要

教科書に沿って授業を進め、日常生活の事柄や新聞記事などを資料とし、話題を広げていきます。単に知識だけではなく、心身の健康の保持増進を図るための実践力を育成します。

3 学習方法

（1）授業への取組

教室での講義が中心です。ときには動画視聴、レポートの作成やグループ討論など適宜取り入れます。学んだ事柄を自分自身にあてはめて考えながら、授業に取り組んでいきましょう。

4 評価について

（1）評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的な評価方法は以下の通りです。

- ・定期考査（期末考査、学年末考査）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②、③

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

（2）評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	健康・安全の意義を理解するとともに、生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているとともに、応急手当や心肺蘇生法などをその知識をもとに実践することができる。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断して、表現することができる。	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。

5 学習計画

学期	単 元 名	学習のねらい（内容のまとめごと）	考査等
一 学 期	3 単元 生涯を通じる健康 1. ライフステージと健康 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 妊娠・出産と健康 5. 避妊法と人工妊娠中絶 6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康	生涯の各段階においては、健康にかかわるさまざまな課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択および社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。	期末考査 ノート提出
二 学 期	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活		期末考査 ノート提出
	4 単元 健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動	健康の保持増進には、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深くかかわっている。したがって、すべての人が健康に生きていくためには、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し、その解決をめざした活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度および地域の保健・医療サービス、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて、理解を深めるとともに、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができるようにする。	
三 学 期	7. 保健サービスとその活用 8. 医療サービスとその活用 9. 医薬品の制度とその活用 10. さまざまな保健活動や社会的対策 11. 健康に関する環境づくりと社会参加		学年末考査 ノート提出